

宮本鍛冶山内遺跡とは・・・

田儀櫻井家が経営したたたら製鉄の中心地ともいえる場所です。この遺跡は狭い峡谷内に、大鍛冶場跡など生産に関連する遺構、田儀櫻井家本宅跡・山内従事者の住居跡など生活に関連する遺構、智光院・金屋子神社・田儀櫻井家墓地・従事者墓地など信仰に関連する遺構が実にコンパクトに一体的に存在しています。その歴史的遺産としての保存状態もすこぶる良好で、江戸時代後期における製鉄を軸とした街の様子を伺うことができる全国でも稀な遺構群です。その歴史的価値が評価され、平成18年1月26日に国史跡に指定されました。



かなやごじんじや
■金屋子神社

製鉄の神様を祀る神社です。現在は木が生い茂っていますが、宮本の山内全体を見渡すことができる場所に立地しています。境内地までは、110段、比高差25mの急な石段が続きます。毎年5月5日には、地元の保存会の方が中心となってお祭りが行われています。



さんないじゆうしやごゆうきやと
■山内従事者住居跡

石垣が何段にもわたって築かれています。これは製鉄に従事した人たちの住居跡であると考えられます。明治5(1872)年には686人もの人々が暮らしていました。



ちこういん
■智光院

田儀櫻井家の菩提寺です。建物内には、立派な欄間や格天井をみることができます。



たぎやくらいけぼ
■田儀櫻井家墓地

田儀櫻井家当主とその家族のお墓が並んでいます。整然と並んだお墓は、田儀櫻井家の歴史の長さを感じさせます。



ちこういんぼら
■智光院墓地

智光院に隣接して約100基の墓石が確認できます。宮本で製鉄に従事した人々を中心に葬られている墓地です。



たぎやくらいけぼほんたくあと
■田儀櫻井家本宅跡

現在は敷地内に道が通っていますが、当時はこの平地面全体が田儀櫻井家本宅の敷地内だったようです。敷地内には、高さ15mの5段に築かれた石垣や大きな手水鉢などダイナミックな遺構が残されています。



たぎやくらいけぼ
■大鍛冶場跡(宮本鍛冶屋跡)

平成16・17年度の発掘調査で大鍛冶の炉が確認され、かつてこの場所が大鍛冶場であったことが証明されました。操業当時はここで鉄をたたき鍛える音が宮本の谷全体に響き渡っていたことでしょう。

